

# さみしいか淋しくはなし地虫出づ

## 藤田湘子

発表されたのは「鷹」平成十一年六月号。同号の湘子の編集後記には「本号で小澤編集長の仕事が終り、新たに八月号から小川軽舟君が編集長になる。また事業部長も加藤静夫君から上田鷺也君に変わった」とある。七月号は三十五周年記念号で、新旧編集長を交えて湘子が指揮している。しかし、八月号では「小澤實君が退会した。理由は知らぬ。(後略)」と記されている。

同年四月号には「春の草孤独がわれを鍛へしよ」があり、この時期の孤独を感じさせるが、「春の草」や「地虫出づ」の季語に湘子本来の明るさと前向きを感じる。その抒情性が深読みに誘うのかもしれないが、それだけ普遍的な詩情があるということではないか、と思う。

1999年(三作)第十一句集『てんてん』 鑑賞・野本京